



二葉幼稚園

園のたより

2020年



年間主題 =こころが満たされる=



4月の聖句

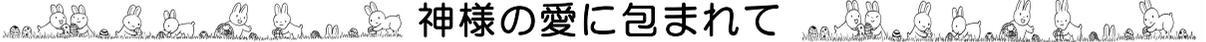
あなたがたはかみにあいされているこどもです

エフェソの信徒への手紙5章1節

4月のさんびか

ちいさい おてて

ようじさんびか5



神様の愛に包まれて

園庭には、前年度のこども達がこの春に期待を膨らませ、秋に皆で球根を植え、思いを注いだチューリップが色とりどりに咲いています。ただ、ひたすら天を仰いで真っすぐに・・・。

ご家族の皆さま、お子さまのご進級、ご入園おめでとうございます。今年例年になく、寂しく切ない3月、4月となりましたね。進級、入園を心待ちにしていたこどもたちやご家族の皆さまのお気持ちを考えると、いてもたってもいられない、そんな思いを抱えながら、静かな園舎で私達教職員も日々を過ごし、準備を進めて参りました。

さて、**新入園の皆さまの中には、初めて神さまと出会う方々もいらっしゃるでしょう。その、神さまのことばが記されている聖書の中に、「涙をもって種まくものは、喜びの声ををもって刈り取る」**(旧約聖書：詩編126篇5-6節)という聖句があります。苦境に立たされた時、私が心の支えとすることばの一つです。

人は生きる中で、突然、様々な試練に出会います。今もそうです。誰もが初めての経験。昼夜を問わず、全世界の人々がもがき苦しみ、英知を絞って見えない敵と闘っています。本当に手ごわい。わけがわからない。

皆さまの中には、毎日極度の緊張の中で、孤独に耐えながら子育てに奮闘している方がいらっしゃるかもしれません。私達もそうですが、「頑張らなきゃ」と思えば思うほど、心も体も知らず知らずのうちに疲弊をしてしまいます。時には、こども達に習って泣きたい時に泣いてみたり、「も～う！」と牛のように、言葉にできない怒りを声に出して(こども達と一緒に)叫んでみたり、普段からなかなか人前で泣けない人は、感動物やメロドラマを見て涙を流すなど、ご自分の中に湧き起こる様々な感情を我慢しすぎず外へ表出してみてください。「あ～疲れた。あ～切ない。」あえて、言葉に出すとその言葉が自分に返り、心に響いて、緊迫していた感情が少しでもほぐれ、今の感情をありのまま味わえ、意外にスッキリするかもしれません。「私、頑張ってるよな～、家族を支えてよくやってるよ。」ご自分をご自分で褒めて労わってあげてください。母だって「しんどいよ～」「何もしたくないよ～」ってそんな時があっいいんです。無理しない。肩の力抜いて自然に任せる。

退職後出産をした先生達が赤ちゃんを連れて園に遊びに来る時、異口同音に語ります。「赤ちゃん授かって、産んで、育ててみて初めて分かりました。お母さんって、本当に偉い！凄い！お母さん達、尊敬します。」思わず「そうでしょう～？穴があったら入りたいよね～」何を隠そう〇十年前、私自身そう実感し、今も尚、同感です！

お母さん達、自信をもって！そのままがいいんです。置かれている状況は違えども、先が見えない不安は皆が抱えています。こんなにたっぷり時間があるから、不安ばかりに目をやらず、こどもの好きなこと、じゃなく、家族の好きなこと、でもなく、私の好きなこと！私が楽しいこと！を思い出して、できそうなことがあればやってみる。私らしさ、を取り戻そう！私もそうしよう！どうぞ、無理せず、焦らず、ゆっくりと。一步ずついきましょう。

神さまの愛と見守りの中で再会できる日を指折り数えながら・・・。

【園長】